

II 教育活動

1 教育活動概要

デザイン学部・看護学部共通の「共通教育科目」は、デザインと看護の両学部共通とし、両学部
に共通する「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生と一緒に学習することにより、学部間の
交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化
した。また、「共通教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の
進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「教養科
目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの習得を目的とする「コミュニケーション科目」
の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知
識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科
目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得す
るために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修す
る上で必要となる技術や知識を補完する目的で「コンピュータ・グラフィクスによる日本建築の形と
色彩の研究」、「発想から具現まで」著書デザイナーのプレゼンテーション技術」といった特別
講義を実施した。

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する
関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン
分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得する
ための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、
「実践科目」及び「修了研究」の4つの科目群で構成し、学生がデザインの高度かつ専門的な知
識・技術を学ぶことができるよう体系化した。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科
目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開
する教育・研究環境を整備した。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得さ
せるとともに、関連する分野の教育を行う。